

3月定例会市議会 1日から22日までの22日間の会期 予算審査特別委員会は14・15・18・19日の4日間おこなわれます

204億3,926万7千円の新年度一般会計予算や条例制定などを審議する、3月定例会市議会が1日開会し、22日までの22日間の日程でおこなわれます。

3月定例会市議会には市長提案の議案として、条例（制定12件、一部改正9件、廃止1件）22件、予算（新年度予算8件、補正予算8件）16件、その他として工事請負契約の変更についてなど5件、あわせて43件の議案と、請願の審査3件（民生福祉常任委員会で21日審査）がおこなわれます。

新年度予算や予算関連条例を審議する予算審査特別委員会は、14・15・18・19日の4日間の日程で議場でおこなわれ、傍聴することもできます。



一般質問は7・8・11日の3日間で12人の議員がおこないます

一般質問は、7・8・11日の3日間で大東議員など12人の議員がおこないます。（1日4人10時から）



大東議員の一般質問（8日午後3時頃からの予定）

1. 市政運営について
2. 観光事業について
3. 米軍機の低空飛行訓練について
4. 歴史・文化遺産について

※開始時間は、変更になる場合があります。

滝坂川に小水力発電施設を設置へ 自然エネルギーの啓発モデルとして

自然エネルギーの活用について検討をすすめている市では新年度、滝坂川に小水力発電施設を2,296万5千円で設置し、街灯の電気を発電する予定です。

計画の小水力発電では、街灯1基程度の発電を予定し、自然エネルギーの啓発モデルとして設置する計画です。

売電をおこなう小水力発電については、利根町の平川などについて、検討がすすめられています。



続ぐらひ散歩 めまた道 沼田地区 その八 坊新田町金剛院

金剛院は、伝えられているところによると、昭和村にありましたが、消失してしまい明徳・応永年間（1390～1427）のころ、沼田氏5代の沼田太郎上野介景繁の三男、五郎景次が京都の愛宕山威徳院の別当となり、上沼須



船松

に本尊を安置し建立したのが開基とされています。

天和元年（1615）に真田信幸より、沼田城外に百間四面の土地を賜り、上沼須より現在地に移りました。

山門を入り右側に矜羯羅童子（こんがらどうじ）と制多迦童子（せいたかどうじ）を脇侍にした「水かけ不動尊」があり、太鼓橋を渡ると鐘楼にいきます。



輪廻車

横に大きく枝を張った船松は、13世、賢雄法印が城に出仕した時、城内にあった黒松を藩主より拝領したものと伝えられています。

沼田には数少ない輪廻車（念仏車）は、高さ約1.7mで、女性の供養のために建てられたと考えられています。

（TPP）について、安倍首相は首脳会談後の記者会見で、参加の障害がなくなったと強調し、参加表明に踏み出す姿勢を鮮明にしました。

「聖域なき関税撤廃が（交渉参加の）前提でない」ことができたとして、日米共同声明が発表されましたが、問題は声明の冒頭に示されたTPPの原則であり、「すべての物品が交渉の対象とされること」と「包括的で高い水準の協定を達成していくこと」が強調され、関税についても「非関税障壁」とよばれる各種の規制についても、撤廃の対象にならない「聖域」など存在しないことを示しています。

安倍首相は、「日米同盟の絆は完全に復活した」と胸を張りましたが、自主性を放棄し、日本国民の安全と生活に重荷を押しつける危険な道に突すすむところにいるにすぎません。

こんにちは 大東のぶゆき です